

# 福岡の昔話 イノシシと月

脚本・演出 西上寛樹 振付・音楽 西村りな

## 新作お披露目公演

公益財団法人福岡文化財団2020年度助成事業

劇団  
IPPO...NIHO...さんぽ

おつきさま  
なにをみて

わらった  
わらった？

日時：2021年1月17日(日) 11:00開演

場所：コスモスプラザ 多目的ホール

(〒838-0215 福岡県朝倉郡筑前町篠隈373)

料金：おひとり1000円 (4歳以上)

(3歳以下無料ですが人数把握のためお申し込みください)

お申し込み：劇団さんぽ(092-692-1123)

(お問合せ) ちくしの子ども劇場 (092-925-5630)

主催：一般社団法人劇団さんぽ

～新型コロナウイルス感染症対策として～

入場人数を90名までとさせていただきます。

マスク着用のご協力をお願いいたします。

入場前に検温を実施いたします。

37.5℃以上の方はご入場をお断りいたします。

この劇はワイワイ観て欲しいな。  
みんなの顔もこの劇のいちぶですから。  
そして、ガヤガヤ観て欲しいな。  
思わず飛び出した言葉は、  
この劇の大事なセリフですから。  
ちょっとくらい立ち上がっても平気ですよ。  
体いっぱい動かせばその分 心も動きます。

そしたら、ほら・・・

天井にお月様が出てきた！  
この劇は、みんなと山に遊びに行きたくて作りました。  
だから劇が終わったら  
ぜひ、山に行ってみてね。  
それで、何を見つけたかきかせてね。

脚本・演出 西上寛樹

## 手作りの楽器

竹を切り炙り、一つ一つ丁寧に  
作った竹楽器の音色は  
とても心地好い響きを奏でます。

SpecialThanks

表紙デザイン：古賀涼子

竹提供：広川町の野中さん

須恵町のご近所の方々

## あらすじ

「大変だ！

お月様の元気がないらしい」  
動物たちが山の広場に集まって  
相談を始めます。  
お月様に元気になってもらおうと、  
十五夜の晩に出し物大会をすることに  
しました。

しかし、うかない顔のイノシシ。  
「どうしよう、僕は何もできない」  
ついに泣き出してしまいました。

【キャスト】

西雅子・篠原弘一・辻和花子

## 作品の魅力！

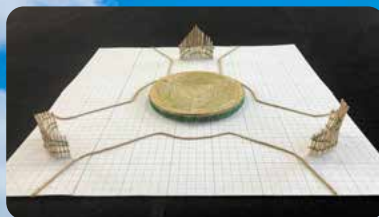
### ● 大地を感じるダンス ●

役者の身体と手作り楽器を使って、大地の力強さや風の頼もしさ  
動物の軽快な動きを表現します。

風の音、影、月、動物、語り…。

3人の役者達が子ども達といっしょにお話の世界を楽しみます。

### ● 円形舞台が特徴 ●



真ん中に演技スペースを置いて  
客席で舞台を囲む、円形舞台です。  
演じる役者だけでなく、観ている人達の  
表情や反応も見え、席が離れていても  
一緒に舞台を楽しめます。

## お申し込み



電話・FAX・メールから  
お申し込みできます。

TEL 092-692-1123

FAX 092-692-1120

E-mail: info@gekidansanpo.com

QRコードやURLからも  
お申し込みできます



お申し込みフォーム

<https://form.run/@gekidansanpo-inoshishitotuki>

ちくしの子ども劇場さんからも  
お申し込みできます

ちくしの子ども劇場

TEL.092-925-5630

FAX.092-403-5645

E-mail: ckg-genkikko@m9.dion.ne.jp



お名前

ご住所 〒

電話番号

人数：大人

枚・お名前

子ども

枚・お名前

幼児(無料)

枚・お名前

新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来場者全員のお名前のご記入をお願いします。